

令和2年度

学校関係者評価報告書

令和3年 4月 1日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。令和2年度の学校運営や教育活動等につきましても、年度初めに全教職員に提示した要項に基づき、年間を通して評価活動を行い、その結果を令和2年度学校自己評価報告書として取りまとめました。

以上をもとに、令和3年3月22日に第2回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

令和3年 4月 1日
学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	事務局次長	井畑 信二	
社会医療法人 善仁会 総合健診センター	統括	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 芳生会	施設長	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	
医療法人社団 高信会	総括課長	野中 恵子	

事務局

宮崎医療管理専門学校	学校長	川野 竜太郎	自己点検・評価 委員会委員長
〃	教務部長	川野 哲朗	自己点検・評価 委員会委員

2. 委員会次第等

1) 日時 令和3年 3月22日 (月) 14:00～15:10

2) 場所 宮崎医療管理専門学校 会議室

3) 次第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 令和2年度自己点検・評価報告
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

3. 内容

※井畑委員、野中委員、年度末の業務等、ご都合により欠席。後日、関係資料を送付のうえ、教育活動及び学校運営に係るご意見等をいただく。

1) 川端委員長挨拶

学校運営等大変な状況もあるが、今年度の本校の評価活動及びその結果をふまえ、委員それぞれ、評価項目ごとに意見等を出していただき旨の内容。

2) 事務局（学校長）挨拶

コロナ渦、本校の特色のアピール等、広報活動を展開してきたが、学校運営は厳しい状況にある。引き続き、社会的ニーズに応じた人材育成に貢献していくためにも、各委員の評価やご意見、関係団体等の協力をいただき、改善に努めていきたい旨の内容。

3) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

・学校評価の内容、方法、根拠の説明 <事務局：教務部長>

・令和2年度学校評価及び自己点検報告 <事務局：学校長>

※前段、学生募集関連等、本校を取り巻く状況の説明

<評価項目>

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------|
| 1 教育理念・教育目標 | 2 学校運営 | 3 教育活動 | 4 学修成果 |
| 5 学生支援 | 6 教育環境 | 7 学生の受け入れ募集 | 8 財務 |
| 9 法令等の遵守 | 10 社会貢献・地域貢献 | | |

4) 各委員からの評価及び意見 ※質問、意見等順に記載

(1) 川端委員（項目1）

・概ね評価がアップしているが、学生の状況に係る根拠は何か。

→ 事務局：授業評価や全学連携演習、特別講座のアンケート、本校及び各学科の方針に基づく言動等から、本校の教育理念・目標が理解されていると思われる。

(2) 牧野委員（項目2）

・人事考課を処遇に反映することは難しい面もあるが、例えば分掌業務のバランスを図る等による時間短縮も、業務の効率化ひいては処遇の改善につながるのでは。

(3) 川端委員、牧野委員（項目3）

・医療系カリキュラムの編成について

→ 事務局：東京校の協力もいただき、人材ニーズに応じた内容に改編。今後も継続し、本校の特色としていきたい。

・授業評価の詳細について ※確認

→ 事務局：評価内容、結果提示

(4) 川端委員 (項目4)

- ・退学防止について、本校の特色でもある丁寧な個別の対応が窺える。今後とも、入学する様々な学生に対するフォロー、支援をお願いしたい。

(5) 川端委員、牧野委員 (項目5)

- ・学生支援について、本校の対応はしっかりしていて温かい。ホームページの同窓会(卒業生来校の様子等)の内容もアットホームで好印象。卒後の相談の場にもなっていることをアピールしては。

(6) 川端委員 (項目6)

- ・施設設備の修繕、整備等、財務状況等から厳しいと思われるが、ハード面を教育関連の機器整備、拡充等、ソフト(教育活動)でカバーできるのでは。

(7) 川端委員 (項目7)

- ・受験対象について、本校卒業生からのつながりはどうか。
→ 事務局 : 親子、兄弟の入学もあり、減免制度もある。
- ・Web出願は良い。県外からの移住者向けのアピールの場を活用し、こまめに発信してはどうか。

(8) 坂口委員、川添委員、牧野委員 (項目8)

- ・財務状況が他の項目にも連動している。
- ・他の収益事業について、所有地の有効活用について再度検討。
- ・子育て支援委員養成(委託事業)、リカレント教育等、本校の専門性やスケールメリット、ICT機器等を活用し導入してはどうか。

(9) 川添委員 (項目10)

- ・国際子ども図書館展示会について、関連団体や保育現場等との交流の場としても良い企画と考える。本校のアピールにもなり、参加協力したい。

※事務局から

→ 今後のボランティアの受け入れ状況はどうか。

川添委員、坂口委員 : 本年度同様、感染症の状況次第だが、基本的に受け入れる方向。積極的なワクチン接種についても、双方で進めていければと考える。

5) まとめ

川端委員長

本委員会での評価や改善に係る意見を教育内容の改善やカリキュラム編成等に活かしていただきたい。引き続き、教育課程編成委員会(第2部)でも協議を深め、本校運営に係る諸課題の改善に努めたい。

※「9 法令等の遵守」について、年間を通し適正であり、特段の改善事項等はないのではとの評価

以 上